

海外現地法人の動向（海外現地法人四半期（7～9月期）調査） 要 旨

平成17年1～3月の先行きD I は、
・ 売上高は、プラス水準を維持。前期比は、前期の大幅な悪化から、やや改善。北米、ASEAN4は輸送機械が好調で改善。一方、IT関連の生産調整等で、NIES3、中国が引き続き悪化。
・ 設備投資は、全地域でプラス水準であるものの、ASEAN4、NIES3が悪化。従業者は、欧州、NIES3を除きプラス水準。

平成16年7～9月期の実績は、
・ 売上高は、4期連続2桁の増加。電気機械、輸送機械等が好調で全地域で増加。特に中国は電気機械等が好調で大幅増加を持続。
・ 設備投資はASEAN4、中国、欧州が大幅な増加。従業者は中国、ASEAN4、欧州が引き続き増加。

今回調査のポイント

調査時点：平成16年11月中旬

1. 売上高先行きD I^{*1}は、14.0%ポイントと、プラス水準を維持。前期比は、前期の大幅な悪化から、1.2%ポイントのやや改善。実績（ドベース）は、前年同期比16.7%増と、4期連続2桁増加となり、好調を持続。

先行きD Iは、NIES3^{*2}を除く全地域でプラス水準。NIES3はIT関連の生産調整等により、マイナス水準が拡大。前期比では、輸送機械が好調で、北米、アジアが改善し、欧州は悪化。アジアでは、ASEAN4^{*3}が輸送機械の好調により改善。電気機械等の悪化から、NIES3、中国^{*4}が引き続き悪化。

実績は、全地域で引き続き増加。特にアジアは9期連続で2桁増加。電気機械が好調で中国は大幅増加を持続。北米、欧州は輸送機械が好調で増加。

2. 設備投資先行きD Iは、11.1%ポイントと、プラス水準を維持。前期比は、わずかに悪化。実績は、前年同期比36.7%増と7期連続増加。

先行きD Iは、引き続き全地域でプラス水準。前期比では、アジアが引き続き悪化。北米、欧州が輸送機械等が好調で改善。アジアでは、ASEAN4が電気機械の悪化で、同7.5%ポイントの悪化。NIES3も引き続き悪化。一方、中国は改善。

実績は、NIES3を除く全地域で増加。アジアは引き続き増加。なかでも、ASEAN4は輸送機械が好調で、前年同期比46.8%増と3期連続で大幅な増加。中国は電気機械が好調で大幅に増加。欧州も2期連続で大幅に増加し、北米は3期ぶりに増加。

3. 従業者先行きD Iは、4.7%ポイントと、引き続きプラス水準。前期比は、わずかに悪化。実績は、前年同期比4.1%増と10期連続増加。

先行きD Iは、欧州、NIES3を除く全地域で引き続きプラス水準。前期比では、ASEAN4を除く全地域で悪化。輸送機械の悪化等により、北米は悪化。欧州、アジアも引き続き悪化。アジアでは、輸送機械、電気機械等の悪化により、NIES3、中国が悪化。一方、ASEAN4は電気機械の改善等により、やや改善。

実績は、北米を除く全地域で増加。アジアは前年同期比6.2%増と引き続き増加し、欧州も2期連続で増加。アジアでは、中国が電気機械等の増加から同9.3%増と引き続き増加し、ASEAN4も増加。一方、北米は引き続き減少。

注) *1：D Iの調査期間を平成16年4～6月期調査から3ヶ月に変更（従前6ヶ月の調査期間を、「現状判断」、「先行き」に分割し、それぞれ3ヶ月で調査）

・ D I = 増加と回答した企業の割合 - 減少と回答した企業の割合

・ 現状判断D Iの前期比 = 平成16年10～12月D I (現状判断) - 平成16年7～9月D I (現状判断)

・ 先行きD Iの前期比 = 平成17年1～3月D I (先行き) - 平成16年10～12月D I (現状判断)

*2 NIES3：シンガポール、台湾、大韓民国

*3 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

*4 中国：香港を含む。

1. 売上高

売上高先行きD Iは、14.0%ポイントと、プラス水準を維持。先行きD Iの前期比は、前期の大幅な悪化から、1.2%ポイントのやや改善。

先行きD Iは、N I E S 3を除く全地域でプラス水準を維持。N I E S 3はI T関連の生産調整等から、マイナス水準が拡大。

前期比は、前期の大幅な悪化から、やや改善。輸送機械等の改善から北米は改善し、アジアも改善。欧州は悪化。アジアでは、輸送機械の改善でA S E A N 4が改善。電気機械等の悪化から、N I E S 3、中国が引き続き悪化。

売上高(ドルベース)は、前年同期比16.7%増と4期連続2桁台の増加と好調を持続。

全地域で引き続き増加。アジアは9期連続2桁台の増加。中国は電気機械の増加等から好調を持続。北米、欧州は輸送機械が好調で引き続き増加。

(参考) 海外経済は、アメリカの景気は拡大している。アジアでは中国、タイ、マレーシア、台湾、シンガポールで景気が拡大しており、韓国では景気は回復している。ユーロ圏では景気は緩やかに回復している。(月例経済報告(12月)より抜粋)

(1) 売上高現状判断D I(16年10-12月)は、12.8%ポイントと、プラス水準を維持しているものの、現状判断D Iの前期比は、10.3%ポイントの大幅な悪化。

先行きD I(17年1-3月)は、14.0%ポイントと、プラス水準を維持し、前期(現状判断D I(16年10-12月))に比べ、1.2%ポイントのやや改善(1表、1図、2図)。

・ 先行きD Iは、N I E S 3を除く全地域で引き続きプラス水準。N I E S 3は、I T関連の生産調整等による電気機械の悪化から、マイナス水準が拡大。

先行きD Iの前期比は、北米が輸送機械、一般機械の改善から同6.5%ポイントの改善となり、アジアは同1.8%ポイントの若干の改善。一方、欧州は電気機械、輸送機械等の2桁台の悪化により、同7.5%ポイントの悪化に転じた。アジアでは、A S E A N 4が輸送機械等の改善で、同8.0%ポイントの改善。I T関連の生産調整等による電気機械の悪化の影響等により、N I E S 3は同4.0%ポイント、中国は同3.3%ポイントと、引き続き悪化。

(2) 売上高実績(ドルベース)は、前年同期比16.7%増と、4期連続2桁台の増加と好調を持続(1表、1図、3図)。

・ 全地域で引き続き増加。特にアジアは9期連続2桁台の増加。なかでも、中国は、電気機械をはじめ13業種中12業種で引き続き増加し、同27.4%増と9期連続2桁台の増加と好調を持続。A S E A N 4は好調な輸送機械(特にタイが好調)をはじめ、電気機械等の増加から同18.2%増、N I E S 3は化学等の増加から同13.1%増と引き続き増加。また、北米は主力の輸送機械が好調なこと等から、同12.3%増。欧州は電気機械、輸送機械等の増加から同19.9%増と4期連続2桁台の増加。

1表 売上高のD I及び実績(地域・主要業種別)

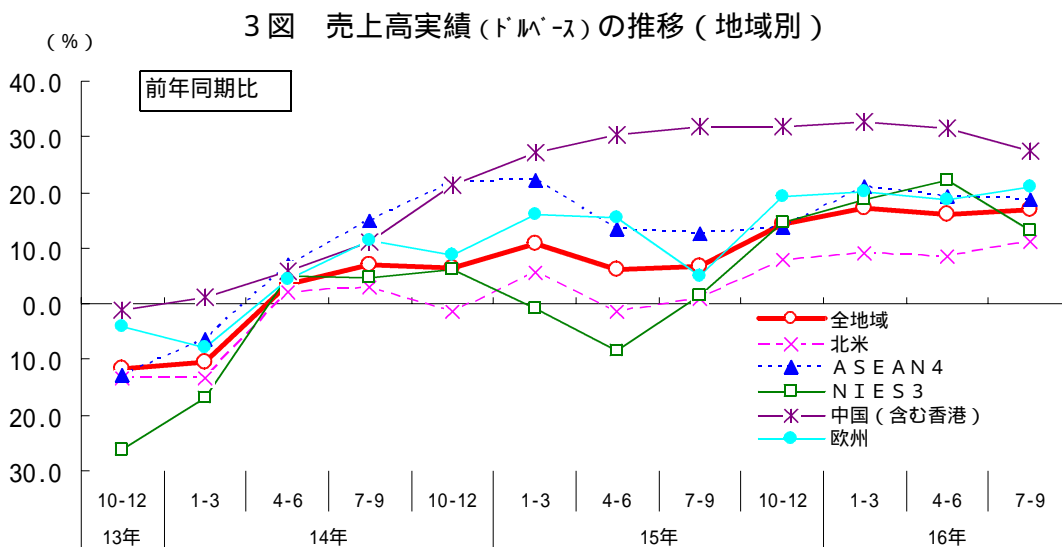
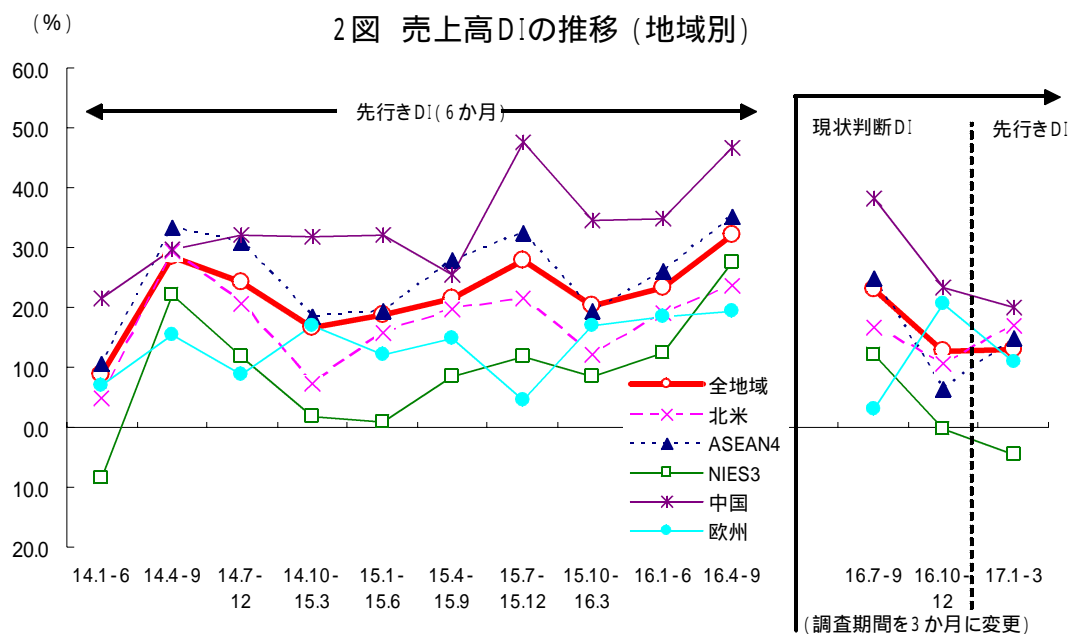
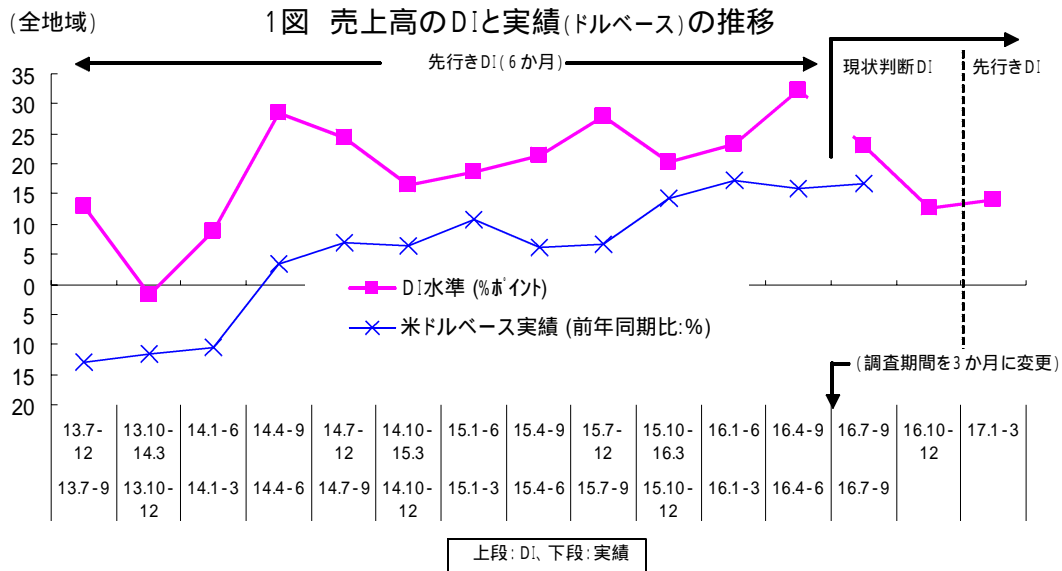
(単位: D I及びD I前期比 %ポイント、実績 前年同期比 %、)

	計(地域・業種)	北米	アジア	A S E A N 4 ^{1,3}	N I E S 3 ²	中国(香港を含む) ⁴	欧州
D I	23.1 12.8 14.0	16.7 10.6 17.1	28.1 12.3 14.1	24.8 6.4 14.4	12.1 0.4 4.4	38.2 23.3 20.0	2.9 20.6 13.1
D I前期比	(10.3) 1.2	(6.1) 6.5	(15.8) 1.8	(18.4) 8.0	(12.5) 4.0	(14.9) 3.3	(17.7) 7.5
実績(前年同期比)	16.7	12.3	20.4	18.2	13.1	27.4	19.9

	輸送機械	電気機械	一般機械	化学	鉄鋼
D I	16.6 17.7 22.3	22.1 7.0 3.5	27.8 22.5 20.1	20.3 16.7 21.4	20.6 7.5 20.8
D I前期比	(1.1) 4.6	(15.1) 3.5	(5.3) 2.4	(3.6) 4.7	(13.1) 13.3
実績(前年同期比)	17.1	15.0	20.3	24.1	29.9

注) D Iは、「16年7~9月(現状) 16年10~12月(現状) 17年1~3月(先行き)」の順である。

D I前期比は、カッコ内が「現状判断D Iの前期比」、カッコなしが「先行きD Iの前期比」である(1ページの注を参照)。



2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

設備投資額先行きD Iは、11.1%ポイントと、プラス水準を維持。先行きD Iの前期比は、わずかに悪化。

先行きD Iは、引き続き全地域でプラス水準。

前期比は、アジアが引き続き悪化。北米、欧州は輸送機械等が好調で、改善。アジアでは、ASEAN4が電気機械等の悪化により、同 7.5%ポイントの悪化、NIES3も引き続き悪化。一方、中国は改善。

設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比36.7%増と7期連続増加。

NIES3を除く全地域で増加。アジアは引き続き増加。特にASEAN4は輸送機械が好調で、同46.8%増と3期連続で大幅な増加。中国は電気機械が好調で大幅に増加。欧州も2期連続で大幅に増加し、北米は3期ぶりに増加。

(1)設備投資額現状判断D I (16年10-12月)は、11.9%ポイントと、プラス水準。現状判断D Iの前期比は、0.2%ポイントとわずかに悪化。

先行きD I (17年1-3月)は、11.1%ポイントと、プラス水準を維持しているが、前期(現状判断D I (16年10-12月))に比べ、0.8%ポイントとわずかに悪化(2表、4図)。

・ 先行きD Iは、引き続き全地域でプラス水準。

先行きD Iの前期比は、アジアが同 2.6%ポイントと引き続きやや悪化。北米(同4.3%ポイント)、欧州(同0.9%ポイント)は輸送機械等が好調で引き続き改善。アジアでは、ASEAN4が電気機械等13業種中10業種で悪化となり、同 7.5%ポイントの悪化、NIES3が電気機械等の悪化により、同 2.9%ポイントの引き続きの悪化。一方、中国は輸送機械等が堅調なことから改善見込み。

(2)設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比36.7%増と7期連続増加(2表、5図)。

・ NIES3(横ばい)を除く全地域で増加。アジアは引き続き増加。なかでもASEAN4は主力の輸送機械が好調(特にタイが好調)で、同46.8%増と3期連続で40~60%台の大幅な増加。中国は電気機械が大幅に増加したことから、同62.5%増と前期の減少から大幅に増加。欧州も2期連続で同45.6%増と大幅に増加し、北米(同27.5%増)は輸送機械の増加から3期ぶりに増加。

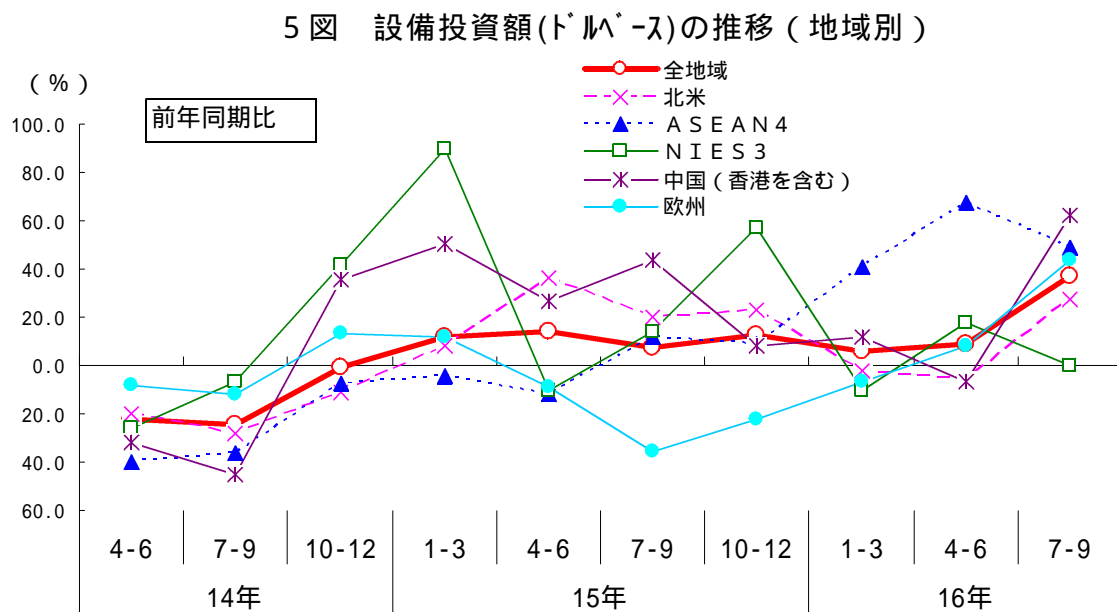
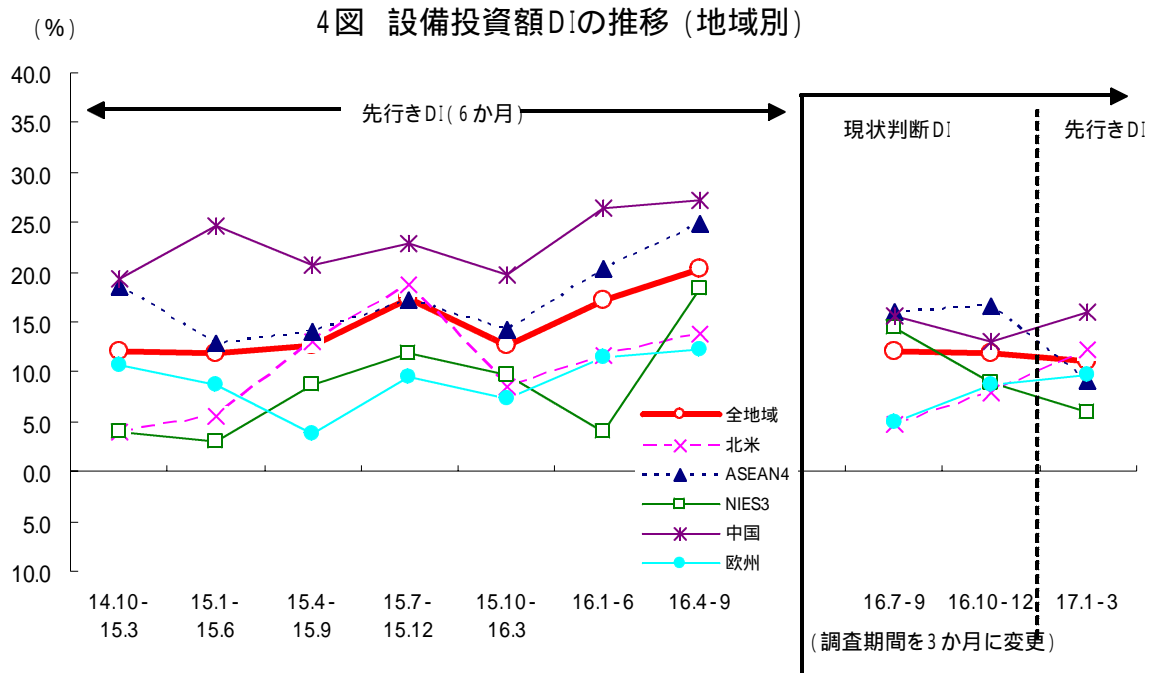
2表 設備投資額のD I及び実績（地域・主要業種別）

(単位：D I及びD I前期比 %ポイント、実績 前年同期比 %、)

(単位：D、及びD前期比、%以下)、実績 前年同期比 (%)																						
	計 (地域・業種)			北米			アジア			ASEAN4 ^{*3}			NIES3 ^{*2}			中国 (香港を含む) ^{*4}			欧州			
D I	12.1	11.9	11.1	4.8	7.9	12.2	14.8	13.8	11.2	15.9	16.6	9.1	14.5	8.9	6.0	15.5	13.0	16.0	4.9	8.7	9.6	
D I 前期比	(0.2)	0.8		(3.1)	4.3		(1.0)	2.6		(0.7)	7.5		(5.6)	2.9		(2.5)	3.0		(3.8)	0.9		
実績(前年同期比)	36.7			27.5			44.4			46.8			0.0			62.5			45.6			
	輸送機械			電気機械			一般機械			化学			鉄鋼									
D I	11.6	15.8	18.2	13.7	12.5	6.6	13.1	12.6	14.9	13.7	10.0	9.5	11.1	16.3	9.5							
D I 前期比	(4.2)	2.4		(1.2)	5.9		(0.5)	2.3		(3.7)	0.5		(5.2)	6.8								
実績(前年同期比)	30.2			76.5			10.0			1.7			3.5									

注) D Iは、「16年7～9月(現状) 16年10～12月(現状) 17年1～3月(先行き)」の順である。

D I前期比は、カッコ内が「現状判断D Iの前期比」、カッコなしが「先行きD Iの前期比」である(1ページの注を参照)。



３．雇用

従業者数先行きD Iは、4.7%ポイントと、引き続きプラス水準。先行きD Iの前期比は、引き続き 0.9%ポイントのわずかな悪化。

先行きD Iは、欧州、N I E S 3を除く全地域で、引き続きプラス水準。前期比は、A S E A N 4を除く全地域で悪化。北米は輸送機械の悪化等により悪化し、欧州、アジアも引き続き悪化。アジアでは、輸送機械、電気機械等の悪化により、N I E S 3、中国が悪化。一方、A S E A N 4は電気機械の改善等により、やや改善。

従業者数(平成16年9月末)は、前年同期比4.1%増と10期連続の増加。

北米を除く全地域で増加。アジアは同 6.2%増と引き続き増加。欧州も2期連続で増加。アジアでは、中国が電気機械等の増加から同 9.3%増と引き続き増加。A S E A N 4も増加。一方、北米は引き続き減少。

(1)従業者数現状判断D I(16年10-12月)は、5.6%ポイントと、プラス水準を維持。現状判断D Iの前期比は、 2.3%ポイントの悪化。

先行きD I(17年1-3月)は、4.7%ポイントと、プラス水準を維持し、前期(現状判断D I(16年10-12月))に比べ、引き続き 0.9%ポイントのわずかな悪化(3表)。

- 先行きD Iは、欧州、N I E S 3を除く全地域で、引き続きプラス水準。
先行きD Iの前期比は、A S E A N 4を除く全地域で悪化。北米は輸送機械の悪化等により同 2.9%ポイントの悪化。欧州は輸送機械、電気機械の悪化により、引き続きマイナス水準で悪化。アジア(同 0.2%ポイント)はプラス水準も引き続き悪化。輸送機械、電気機械等の悪化から、N I E S 3(同 1.7%ポイント)は引き続き悪化し、中国(同 1.1%ポイント)は、D I水準は高いものの、引き続き悪化。一方、電気機械の改善等により、A S E A N 4はやや改善。

(2)従業者数(平成16年9月末)は 246万人、前年同期比4.1%増と10期連続の増加(3表)。

- 北米を除く全地域で増加。アジアは同 6.2%増と引き続き増加。欧州は輸送機械の大幅な増加等から同 5.6%増と2期連続で増加。アジアでは、中国が電気機械等13業種中9業種が増加し、同 9.3%増と引き続き増加。A S E A N 4は輸送機械等の増加から引き続き増加。一方、電気機械等の減少から、北米は引き続き減少。

3表 従業者数のD I及び実績(地域・主要業種別)

(単位：D I及びD I前期比 %ポイント、実績 前年同期比 %。)

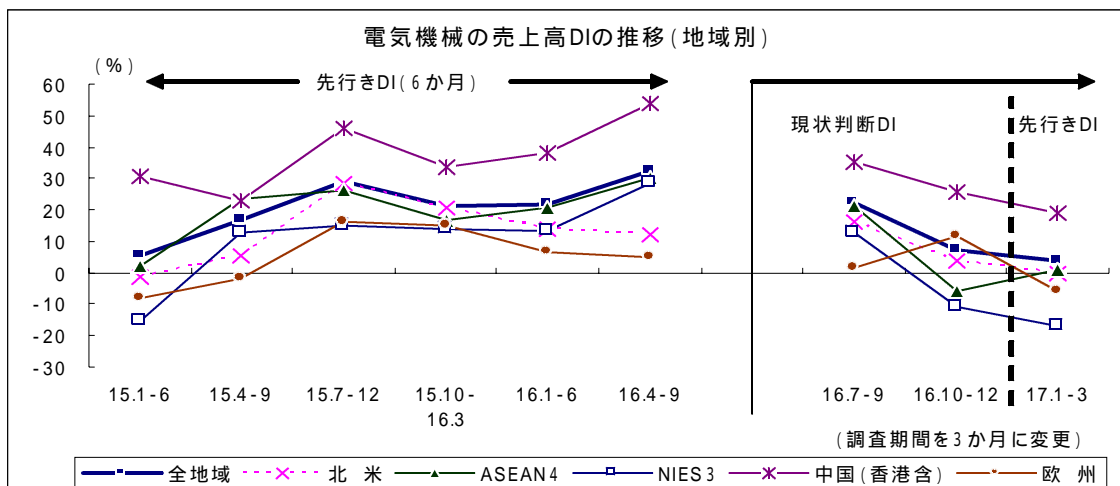
	計(地域・業種)	北米	アジア	A S E A N 4 ^{1,3}	N I E S 3 ²	中国(香港を含む) ⁴	欧州
D I	7.9 5.6 4.7	2.3 5.0 2.1	11.4 7.8 7.6	8.8 4.5 6.4	4.7 2.4 4.1	17.2 14.3 13.2	2.0 2.6 3.8
D I前期比	(2.3) 0.9	(2.7) 2.9	(3.6) 0.2	(4.3) 1.9	(7.1) 1.7	(2.9) 1.1	(0.6) 1.2
実績(前年同期比)	4.1	4.6	6.2	4.4	0.6	9.3	5.6

	輸送機械	電気機械	一般機械	化学	鉄鋼
D I	9.2 8.0 4.1	10.0 3.8 3.9	13.7 6.8 9.8	7.6 5.4 6.2	6.2 13.5 12.0
D I前期比	(1.2) 3.9	(6.2) 0.1	(6.9) 3.0	(2.2) 0.8	(7.3) 1.5
実績(前年同期比)	8.6	4.7	5.8	2.2	17.2

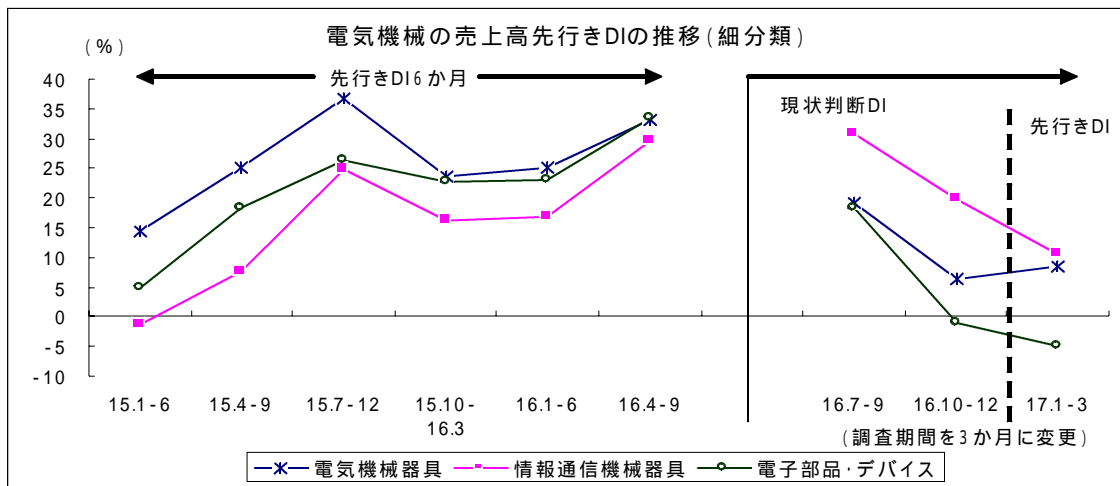
注) D Iは、「16年7～9月(現状) 16年10～12月(現状) 17年1～3月(先行き)」の順である。

D I前期比は、カッコ内が「現状判断D Iの前期比」、カッコ外が「先行きD Iの前期比」である(1ページの注を参照)。

【トピックス】世界的な IT 関連の生産調整等により、平成 17 年 1-3 月期の
電気機械の売上高先行き DI は 3.5%ポイント悪化
特に NIES 3 はマイナス水準で更に悪化、欧州はマイナス水準への悪化の見込み

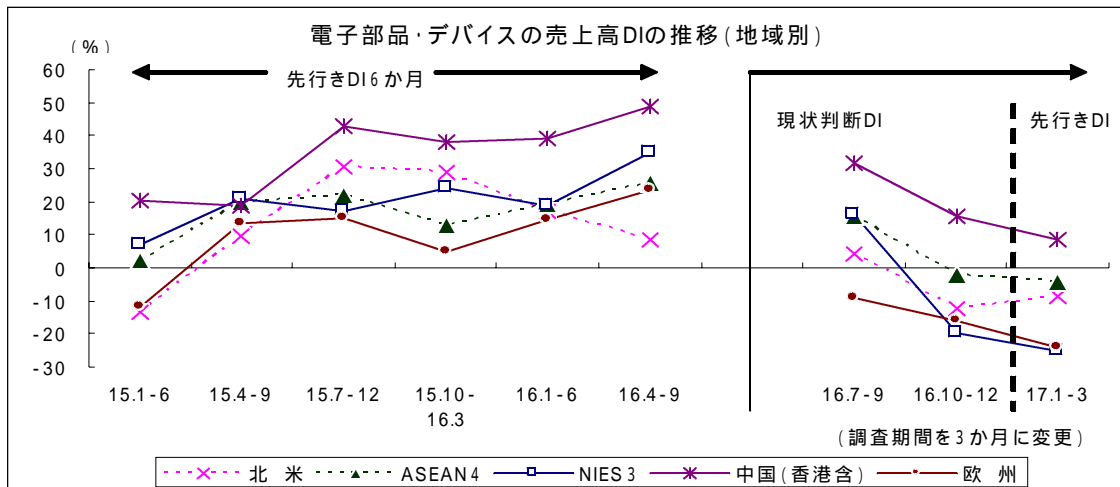


《現状 DI》電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイスすべてが悪化
《先行き DI》電気機械器具は改善の見込みも、電子部品・デバイスはマイナス水準で更に悪化



電子部品・デバイスの売上高 DI

《現状 DI》中国は 2 桁台のプラス水準も、他地域 (国) はすべてマイナス水準に落ち込み
《先行き DI》特に、NIES 3、欧州は 20 %ポイント台へ悪化の見込み



注) 電気機械器具：産業用・民生用電気機械器具、電子応用装置、その他の電気機械器具

情報通信機械器具：テレビ、ラジオ、電話機、ステレオ、電子計算機等

電子部品・デバイス：半導体、集積回路、コンデンサなど